

音楽学部 邦楽科三味線 < 長唄・常磐津・清元 > 専攻 カリキュラム・ガイド

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
必修科目	主専攻(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) I									●		●	●	
	主専攻(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) II									●		●	●	
	主専攻(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) III									●		●	●	
	主専攻(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) IV									●		●	●	
	副主専攻長唄/常磐津/清元(三味線音楽) I									●		●	●	
	副主専攻長唄/常磐津/清元(三味線音楽) II									●		●	●	
	副主専攻長唄/常磐津/清元(三味線音楽) III									●		●	●	
	副主専攻長唄/常磐津/清元(三味線音楽) IV									●		●	●	
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) I									●		●	●	
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) II									●		●	●	
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) III									●		●	●	
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) IV									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) I-1									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) I-2									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) II-1									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) II-2									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) III-1									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) III-2									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) IV-1									●		●	●	
	総合実習(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) IV-2									●		●	●	
	学内演奏(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線)									●		●	●	
	卒業演奏(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線)									●		●	●	
	三味線作曲法									●		●	●	
	創作実技(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) III									●		●	●	
	創作実技(長唄三味線)/(常磐津三味線)/(清元三味線) IV									●		●	●	
	邦楽実技論									●		●	●	
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●				●	
邦楽研究旅行										●				
他様式の浄瑠璃									●		●	●		
副科実技									●		●	●		
邦楽関連実技:江戸祭囃子											●	●		
邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技											●	●		
邦楽合奏研究									●		●	●		
日本・東洋音楽史										●				
古典文献研究法										●				
邦楽歌詞研究										●				
保健体育									●					
一般教養科目										●				
専門基礎科目										●				
外国語科目													●	

邦楽科第1講座三味線音楽では「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者、研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。

実技科目
 (1)個人レッスンを中心とした三味線実習及び演習
 1年次には三味線音楽の基本的な演奏技術習得をめざすと共に、安定した楽器の構えや弾き方を学びます。邦楽独特の間や息というものを個人レッスンの中で指導教員の演奏姿勢から学び合奏の際に活かすことの出来る技術を学びます。2年次には前年度の学びを土台とし、より高度な演奏技術習得を図ります。演奏に際して重要となる楽器調整方法を多方面から学び常に安定した演奏を目指します。各学年毎に履修曲が設定されておりますが、3年次4年次は難曲、大曲が多くなります。履修曲を学ぶ中でその曲が作曲された時代背景や曲調を学び曲の分析、理解を深め豊かな知識、音楽性を身につけると共に難易度の高い技術力を磨きます。専攻実技以外に、三味線に関わりの深い唄、浄瑠璃(副主専攻)、囃子(副専攻)等の必修科目を履修することによって曲の流れや曲の特徴を多角的に捉え、それぞれの実技科目の学びを得ると共に主専攻の演奏向上にもつなげます。その他、箏曲、謡曲、尺八、各洋楽器(副科)を選択し習得する機会にも恵まれた環境下であり、積極的に取り組むことで多面的な学びを得ることができます。(ディプロマポリシー①③④)

(2)総合実習、合奏研究
 舞台実習に位置づけられた前期後期総合実習においては、本来の舞台演奏形式での実習となり、三味線同士の息や座るポジションによって微妙に変わる立ちの上げ下げのタイミングやその位置での演奏の仕方、長唄三味線では唄、囃子との相互の息のあり方など実践演習を通して学びます。仲間との演奏を通し演奏のあり方、相互の理解、その時々判断力、集中力を養い個々の力を伸ばすと共に舞台演奏の充実を図ります。(ディプロマポリシー①③④)
 3、4年生では学内での舞台実習に加え、旧奏楽堂での木曜コンサート他、学外出張演奏会での舞台も増え、舞台演奏及び和楽器紹介などの解説を経験することも多くなり、舞台経験と共にさらなる知識習得の必要性を感知することで次なる課題に向き合う事につなげます。

各年次実技カリキュラム

1年次:主専攻〈長唄三味線.常磐津三味線.清元三味線〉

副主専攻〈長唄.常磐津.清元〉

副専攻〈笛.大鼓.小鼓.太鼓〉

前期後期総合実習

2年次:主専攻〈長唄三味線.常磐津三味線.清元三味線〉

副主専攻〈長唄.常磐津.清元〉

副専攻〈笛.大鼓.小鼓.太鼓〉

前期後期総合実習

3年次:主専攻〈長唄三味線.常磐津三味線.清元三味線〉

副主専攻〈長唄.常磐津.清元〉

副専攻〈笛.大鼓.小鼓.太鼓〉

前期後期総合実習.創作実技.邦楽合奏研究

4年次:主専攻〈長唄三味線.常磐津三味線.清元三味線〉

副主専攻〈長唄.常磐津.清元〉

副専攻〈笛.大鼓.小鼓.太鼓〉

前期後期総合実習.創作実技.邦楽合奏研究.学内演奏会.卒業演奏会

その他:邦楽実技論、三味線作曲法、邦楽関連実技(江戸祭囃子,歌舞伎下座太鼓実技)は隔年開講の為、邦楽実技論は1,2年次、三味線作曲法、邦楽関連実技は1~4年次に履修する形となります。

他様式の浄瑠璃は常磐津、常磐津三味線、清元、清元三味線専攻生のための選択科目となります。

古典文献研究法で修得した単位は外国語科目に振り替えることができますが、振り替えの単位数は修得した古典文献法の単位数の半分のみとなります。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤	
専門科目	必修科目	主専攻(長唄)/(常磐津)/(清元) I									●		●	●	
		主専攻(長唄)/(常磐津)/(清元) II									●		●	●	
		主専攻(長唄)/(常磐津)/(清元) III									●		●	●	
		主専攻(長唄)/(常磐津)/(清元) IV									●		●	●	
		副主専攻長唄三味線/常磐津二味線/清元三味線(三味線音楽) I									●		●	●	
		副主専攻長唄三味線/常磐津二味線/清元三味線(三味線音楽) II									●		●	●	
		副主専攻長唄三味線/常磐津二味線/清元三味線(三味線音楽) III									●		●	●	
		副主専攻長唄三味線/常磐津二味線/清元三味線(三味線音楽) IV									●		●	●	
		副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) I									●		●	●	
		副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) II									●		●	●	
		副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) III									●		●	●	
		副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(三味線音楽) IV									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) I-1									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) I-2									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) II-1									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) II-2									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) III-1									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) III-2									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) IV-1									●		●	●	
		総合実習(長唄)/(常磐津)/(清元) IV-2									●		●	●	
		学内演奏(長唄)/(常磐津)/(清元)									●		●	●	
		卒業演奏(長唄)/(常磐津)/(清元)									●		●	●	
		三味線作曲法									●		●	●	
		創作実技(長唄)/(常磐津)/(清元) III									●		●	●	
		創作実技(長唄)/(常磐津)/(清元) IV									●		●	●	
		邦楽実技論									●		●	●	
		ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●			●	
		選択科目	邦楽研究旅行										●		
他様式の浄瑠璃										●		●	●		
副科実技										●		●	●		
邦楽関連実技:江戸祭囃子												●	●		
邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技												●	●		
邦楽合奏研究										●		●	●		
日本・東洋音楽史											●				
古典文献研究法											●				
邦楽歌詞研究											●				
保健体育										●					
共通科目	一般教養科目										●				
	専門基礎科目										●				
	外国語科目													●	

邦楽科第1講座三味線音楽では「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者、研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。

実技科目
 (1)個人レッスンを中心とした唄、浄瑠璃実習及び演習
 1年次には三味線音楽の基本的な演奏技術習得をめざすと共に、安定した発声、歌唱ができることを目的といたします。邦楽独特の間や息というものをご個人レッスンの中で指導教員の演奏姿勢から学び合奏の際に活かすことの出来る技術を学びます。2年次には1年次に受けた指導を基に、より高度な演奏技術習得を目指します。座る位置によって異なる役割を学び実際の演奏に活かせるよう指導を受けます。各学年毎に履修曲が設定されておりますが、3年次4年次は難曲、大曲が多くなります。履修曲を学ぶ中でその曲が作曲された時代背景や曲調を学び曲の分析、理解を深め豊かな知識、音楽性を身につけると共に難易度の高い技術力を磨きます。専攻実技以外に、唄に関わりの深い三味線(副主専攻)、囃子(副専攻)等の必修科目を履修することによって曲の流れや曲の特徴を多角的に捉え、それぞれの実技科目の学びを得ると共に主専攻の演奏向上にもつなげます。その他、箏曲、謡曲、尺八、各洋楽器(副科)を選択し習得する機会にも恵まれた環境下にあり、積極的に取り組むことで多面的な学びを得ることができます。(ディプロマポリシー①③④)

(2)総合実習、合奏研究
 舞台実習に位置づけられた前期後期総合実習においては、本来の舞台演奏形式での実習となり、演奏準備段階の合同練習によって他の楽器との息の合わせ方などを実践演習を通し将来の演奏活動に繋がるよう指導を受けます。仲間との演奏を通し演奏のあり方、相互の理解、その時々判断力、集中力を養い個々の力を伸ばすと共に舞台演奏の充実を図ります。(ディプロマポリシー①③④)
 3、4年生では学内での舞台実習に加え、旧奏楽堂での木曜コンサート他、学外出演演奏会での舞台も増え、舞台演奏及び和楽器紹介などの解説を経験することも多くなり、舞台経験と共にさらなる知識習得の必要性を感知することで次なる課題に向き合う事につなげます。

各年次実技カリキュラム

1年次:主専攻〈長唄,常磐津浄瑠璃,清元浄瑠璃〉

副主専攻〈長唄三味線,常磐津三味線,清元三味線〉

副専攻〈笛,大鼓,小鼓,太鼓〉

前期後期総合実習

2年次:主専攻〈長唄,常磐津浄瑠璃,清元浄瑠璃〉

副主専攻〈長唄三味線,常磐津三味線,清元三味線〉

副専攻〈笛,大鼓,小鼓,太鼓〉

前期後期総合実習

3年次:主専攻〈長唄,常磐津浄瑠璃,清元浄瑠璃〉

副主専攻〈長唄三味線,常磐津三味線,清元三味線〉

副専攻〈笛,大鼓,小鼓,太鼓〉

前期後期総合実習,創作実技,邦楽合奏研究

4年次:主専攻〈長唄,常磐津浄瑠璃,清元浄瑠璃〉

副主専攻〈長唄三味線,常磐津三味線,清元三味線〉

副専攻〈笛,大鼓,小鼓,太鼓〉

前期後期総合実習,創作実技,邦楽合奏研究,学内演奏会,卒業演奏会

その他:邦楽実技論,三味線作曲法,邦楽関連実技(江戸祭囃子,歌舞伎下座太鼓実技)は隔年開講の為、邦楽実技論は1,2年次、三味線作曲法、邦楽関連実技は1~4年次に履修する形となります。

他様式の浄瑠璃は常磐津、常磐津三味線、清元、清元三味線専攻生のための選択科目となります。

古典文献研究法で修得した単位は外国語科目に振り替えることができますが、振り替えの単位数は修得した古典文献法の単位数の半分のみとなります。

区分	科目		1年次		2年次		3年次		4年次		DP ①	DP ②	DP ③	DP ④	DP ⑤	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
専門科目	邦楽囃子実技Ⅰ	主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅰ									●		●	●		
		主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅱ									●		●	●		
		主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ									●		●	●		
		主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ									●		●	●		
	邦楽囃子実技Ⅱ	副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅰ									●		●	●		
		副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅱ									●		●	●		
		副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ									●		●	●		
		副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ									●		●	●		
	邦楽囃子実技Ⅲ	現代邦楽囃子演習Ⅰ									●		●	●		
		現代邦楽囃子演習Ⅱ									●		●	●		
		現代邦楽囃子演習Ⅲ									●		●	●		
		現代邦楽囃子演習Ⅳ									●		●	●		
	必修科目	邦楽関連実技:江戸祭囃子										●		●	●	
		邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技										●		●	●	
		副専攻長唄/長唄三味線(邦楽囃子)	Ⅰ									●		●	●	
			Ⅱ									●		●	●	
			Ⅲ									●		●	●	
			Ⅳ									●		●	●	
		総合実習(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))	Ⅰ-1									●		●	●	
			Ⅰ-2									●		●	●	
			Ⅱ-1									●		●	●	
			Ⅱ-2									●		●	●	
			Ⅲ-1									●		●	●	
			Ⅲ-2									●		●	●	
			Ⅳ-1									●		●	●	
			Ⅳ-2									●		●	●	
学内演奏(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓/打物))										●		●	●			
卒業演奏(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓/打物))										●		●	●			
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA										●		●	●			
創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ										●		●	●			
創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ										●		●	●			
邦楽実技論										●		●	●			
選択科目	邦楽研究旅行											●				
	邦楽合奏研究											●				
	副科実技										●					
	日本・東洋音楽史											●	●			
	古典文献研究法											●				
	邦楽歌詞研究											●				
	保健体育										●	●				
共通科目	一般教養科目											●				
	専門基礎科目											●				
	外国語科目														●	

邦楽囃子専攻では「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。

古典音楽を中心とし、現代音楽まであらゆる音楽ニーズに対応できる豊かな音楽性と芸術性を身につけた人材の育成を目標としています。基本的には個人レッスンを中心とした邦楽囃子実技を行いますが、演奏会の実践に応じて合奏のレッスンを加えアンサンブルの力を養います。専門的な知識や演奏技術・楽器の調整法などを段階的に学び、邦楽囃子の総合的な演奏能力や豊かな表現力を習得するためのカリキュラムとなっています。期末の総合実習、学年末の実技試験、学内演奏会などを通じて実践演奏を数多く経験することができます。副専攻として長唄や長唄三味線を毎年履修し邦楽囃子のベースになる三味線音楽を学び楽曲の理解を深めていきます。ソルフェージュでは西洋音楽理論を基礎を身につけることができます。(ディプロマポリシー①③④⑤)

各年次カリキュラム

1年次:主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅰ、副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅰ、現代邦楽囃子演習Ⅰ、邦楽関連実技:江戸祭囃子(選択)、邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技(選択)、副専攻長唄/長唄三味線(邦楽囃子)Ⅰ、総合実習(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅰ、ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA、邦楽実技論【選択科目】日本・東洋音楽史 など

2年次:主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅱ、副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅱ、現代邦楽囃子演習Ⅱ、邦楽関連実技:江戸祭囃子(選択)、邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技(選択)、副専攻長唄/長唄三味線(邦楽囃子)Ⅱ、総合実習(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅱ、ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA、邦楽実技論、【選択科目】日本・東洋音楽史 など

3年次:主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ、副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ、現代邦楽囃子演習Ⅲ、副専攻長唄/長唄三味線(邦楽囃子)Ⅲ、総合実習(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ、創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ、【選択科目】古典文献法など

4年次:主専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ、副専攻(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ、現代邦楽囃子演習Ⅳ、副専攻長唄/長唄三味線(邦楽囃子)Ⅳ、総合実習(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ、創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ、学内演奏会、卒業演奏会など【選択科目】古典文献法など

区分	科目		1年次		2年次		3年次		4年次		DP ①	DP ②	DP ③	DP ④	DP ⑤	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
必修科目	現代邦楽囃子実技Ⅰ	主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅰ									●		●	●		
		主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅱ									●		●	●		
		主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅲ									●		●	●		
		主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅳ									●		●	●		
	現代邦楽囃子実技Ⅱ	副専攻(小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子))Ⅰ									●		●	●		
		副専攻(小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子))Ⅱ									●		●	●		
		副専攻(小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子))Ⅲ									●		●	●		
		副専攻(小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子))Ⅳ									●		●	●		
		邦楽関連実技:江戸祭囃子									●		●	●		
		邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技									●		●	●		
		副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅰ									●		●	●		
		副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅱ									●		●	●		
		副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅲ									●		●	●		
		副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅳ									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅰ-1									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅰ-2									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅱ-1									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅱ-2									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅲ-1									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅲ-2									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅳ-1									●		●	●		
		総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅳ-2									●		●	●		
		学内演奏(現代邦楽囃子)									●		●	●		
		卒業演奏(現代邦楽囃子)									●		●	●		
		邦楽合奏研究(現代邦楽囃子) #1									●		●	●		
		邦楽合奏研究(現代邦楽囃子) #2									●		●	●		
		邦楽合奏研究(現代邦楽囃子) #3									●		●	●		
		邦楽合奏研究(現代邦楽囃子) #4									●		●	●		
		ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●		●	●		
	選択科目	現代邦楽研究	西洋音楽理論Ⅰ									●		●	●	
西洋音楽理論Ⅱ											●		●	●		
ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB												●		●	●	
現代邦楽作曲法											●		●	●		
創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅲ											●		●	●		
創作実技(邦楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))Ⅳ											●		●	●		
		現代邦楽室内楽									●		●	●		
		邦楽実技論									●		●	●		
		邦楽研究旅行										●				
		副科実技										●				
		副科指揮法									●					
		日本・東洋音楽史										●	●			
		西洋音楽史										●				
		古典文献研究法										●				
		邦楽歌詞研究										●				
共通科目		保健体育									●					
		一般教養科目										●				
		専門基礎科目										●				
		外国語科目													●	

現代邦楽囃子専攻では「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。

現代邦楽専攻では各専攻の古典音楽の演奏技術を基礎にし、古典音楽から現代音楽まであらゆる音楽ニーズに対応できる豊かな音楽性と芸術性を身につけた人材の育成を目標としています。基本的には個人レッスンを中心とした現代邦楽囃子実技を行いますが、演奏会の実践に応じて合奏のレッスンを加えアンサンブルの力を養います。副専攻として長唄・長唄三味線・尺八・箏曲(山田流/生田流)から選択履修することができ、様々な邦楽器の特性を理解しアンサンブルに生かすことができます。選択科目として副科指揮法、現代邦楽研究では、西洋音楽理論Ⅰ・Ⅱや現代邦楽作曲法、現代邦楽室内楽が開講されています。期末の総合実習、学年末の実技試験、学内演奏会などを通じて実践演奏を数多く経験することができます。(ディプロマポリシー①③④⑤)

各年次カリキュラム

1年次:主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅰ、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子)Ⅰ、副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅰ、歌舞伎下座大太鼓実技(選択)邦楽実技論、総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅰ、邦楽合奏研究(現代邦楽囃子)＃1など【選択科目】西洋音楽理論Ⅰなど

2年次:主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅱ、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子)Ⅱ、副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅱ、歌舞伎下座大太鼓実技(選択)邦楽実技論、総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅱ、邦楽合奏研究(現代邦楽囃子)＃2など【選択科目】西洋音楽理論Ⅱ、ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB、現代邦楽作曲法など

3年次:主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅲ、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子)Ⅲ、副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅲ、歌舞伎下座大太鼓実技(選択)邦楽実技論、総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅲ、邦楽合奏研究(現代邦楽囃子)＃3など【選択科目】西洋音楽理論Ⅱ、ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB、現代邦楽作曲法など

4年次:主専攻(現代邦楽囃子実技(笛/打楽器))Ⅳ、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(邦楽囃子)Ⅳ、副専攻長唄/長唄三味線/尺八/箏曲(山田流/生田流)(現代邦楽囃子)Ⅳ、歌舞伎下座大太鼓実技(選択)邦楽実技論、総合実習(現代邦楽囃子(笛/打楽器))Ⅳ、邦楽合奏研究(現代邦楽囃子)＃4、学内演奏会、卒業演奏会など【選択科目】西洋音楽理論Ⅱ、ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB、現代邦楽作曲法、現代邦楽室内楽など

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤	
専門科目	必修科目	主専攻(日本舞踊)Ⅰ								●		●			
		主専攻(日本舞踊)Ⅱ								●		●			
		主専攻(日本舞踊)Ⅲ								●		●			
		主専攻(日本舞踊)Ⅳ								●		●			
		舞台関連実技Ⅱ								●		●	●		
		舞台関連実技Ⅲ								●		●	●		
		舞台関連実技Ⅳ								●		●	●		
		創作実技(日本舞踊)Ⅲ								●		●	●		
		創作実技(日本舞踊)Ⅳ								●		●	●		
		総合実習(日本舞踊)Ⅰ-1								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅰ-2								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅱ-1								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅱ-2								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅲ-1								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅲ-2								●		●			
		総合実習(日本舞踊)Ⅳ-1								●		●			
	総合実習(日本舞踊)Ⅳ-2								●		●				
	学内演奏(日本舞踊)								●		●	●			
	卒業演奏(日本舞踊)								●		●	●			
	仕舞実技(日本舞踊)								●			●			
	狂言小舞(日本舞踊)								●			●			
	副主専攻長唄/長唄三味線(日本舞踊)Ⅰ								●			●			
	副主専攻長唄/長唄三味線(日本舞踊)Ⅱ								●			●			
	副主専攻長唄/長唄三味線(日本舞踊)Ⅲ								●			●			
	副主専攻長唄/長唄三味線(日本舞踊)Ⅳ								●			●			
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(日本舞踊)Ⅱ								●			●			
	副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(日本舞踊)Ⅲ								●			●			
	日本舞踊史								●						
	邦楽実技論								●		●	●			
	邦楽研究旅行								●	●					
	副科実技								●			●			
	邦楽関連実技:江戸祭囃子								●			●			
邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技								●			●				
日本音楽史概説									●						
日本・東洋音楽史									●	●					
古典文献研究法									●						
邦楽歌詞研究									●						
保健体育								●							
共通科目	一般教養科目									●					
	専門基礎科目									●				●	
	外国語科目													●	

邦楽科日本舞踊専攻では、「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。実践的な経験を経て、プロフェッショナルな道程へと進んでいくカリキュラムです。

実技科目
 (1)個人レッスンを中心とした日本舞踊実技・演習・実習
 日本舞踊実技の個人レッスンでは、それぞれの学生の成熟度に合わせて、身体の使い方などの基礎的な技術から、作品に沿った表現技法や振付など、より専門的な技術を学ぶための授業が行われます。
 年次ごとに学生に合わせた古典作品課題を選び、その曲の時代背景・歌詞・衣裳・かつら・小道具・大道具といった舞台に必要な要素についても学びながら、個々の学生に適した細かい指導が行われ、期末の公開実技試験、学内演奏会などを通じて、舞台経験を重ねます。
 さらに、古典作品のみではなく多様な表現方法を学ぶために創作実技(3・4年次)が行われます。
 また日本舞踊と深く関わりのある分野の知識・技術を学ぶため、長唄三味線/長唄(1~4年次)、邦楽囃子(2・3年次)、仕舞実技(2年次)、狂言小舞(3年次)の授業が行われます。

各年次カリキュラム
 1年次:主専攻(日本舞踊)Ⅰ、総合実習(日本舞踊)Ⅰ、副主専攻長唄/長唄三味線、日本舞踊史※、邦楽実技論※ [選択科目]邦楽関連実技、日本東洋音楽史など
 2年次:主専攻(日本舞踊)Ⅱ、舞台関連実技Ⅱ、総合実習(日本舞踊)Ⅱ、仕舞実技、副主専攻長唄/長唄三味線、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓[選択科目]副科実技(ピアノ、独唱、弦楽器、管打楽器、邦楽)など
 3年次:主専攻(日本舞踊)Ⅲ、舞台関連実技Ⅲ、創作実技Ⅲ、総合実習(日本舞踊)Ⅲ、狂言小舞、副主専攻長唄/長唄三味線、副専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓[選択科目]副科実技など
 4年次:主専攻(日本舞踊)Ⅳ、舞台関連実技Ⅳ、創作実技Ⅳ、総合実習(日本舞踊)Ⅳ、学内演奏会、卒業演奏会、副主専攻長唄/長唄三味線[選択科目]邦楽研究旅行、副科実技など
 ※日本舞踊史と邦楽実技論は隔年開講

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
必修科目	箏実技(山田流)Ⅰ									●				
	箏実技(山田流)Ⅱ									●				
	箏実技(山田流)Ⅲ									●				
	箏実技(山田流)Ⅳ									●				
	唄実技(山田流)Ⅰ									●				
	唄実技(山田流)Ⅱ									●				
	唄実技(山田流)Ⅲ									●				
	唄実技(山田流)Ⅳ									●				
	三絃実技(山田流)Ⅰ									●				
	三絃実技(山田流)Ⅱ									●				
	三絃実技(山田流)Ⅲ									●				
	三絃実技(山田流)Ⅳ									●				
	山田流アンサンブル実技Ⅰ									●		●	●	
	山田流アンサンブル実技Ⅱ									●		●	●	
	山田流アンサンブル実技Ⅲ									●		●	●	
	山田流アンサンブル実技Ⅳ-1									●		●	●	
	山田流アンサンブル実技Ⅳ-2									●		●	●	
	総合実習(山田流)Ⅰ-1									●				
	総合実習(山田流)Ⅰ-2									●				
	総合実習(山田流)Ⅱ-1									●				
	総合実習(山田流)Ⅱ-2									●				
	総合実習(山田流)Ⅲ-1									●				
	総合実習(山田流)Ⅲ-2									●				
	総合実習(山田流)Ⅳ-1									●				
	総合実習(山田流)Ⅳ-2									●				
	山田流箏曲演奏論									●		●	●	
	箏歌歌唱法Ⅰ									●				●
	箏歌歌唱法Ⅱ									●				●
	関連箏曲Ⅰ									●	●	●		
	邦楽合奏研究									●		●	●	
	邦楽実技論									●		●	●	
	学内演奏(箏曲(山田流))									●			●	
	卒業演奏(箏曲(山田流))									●			●	
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●			●		
選択科目	邦楽研究旅行										●			
	副科実技										●			
	邦楽概論A(雅楽)										●	●		
	邦楽概論B(声明・琵琶楽)										●	●		
	邦楽概論C(能楽)										●	●		
	邦楽概論D(三曲)										●	●		
	邦楽概論E(長唄・歌舞伎音楽)										●	●		
	邦楽概論F(浄瑠璃)										●	●		
	邦楽歌詞研究										●			
	日本・東洋音楽史										●	●		
	保健体育										●			
共通科目	一般教養科目										●			
	専門基礎科目									●				
	外国語科目													●

邦楽科専攻では、他専攻(邦楽)の伝統芸能と共存しており、専攻の位置付けの認識や、他専攻の様式も身近に感知することが出来る環境にあります。第二講座箏曲山田流専攻では、演奏技術を高める・聴く力を養う・合奏に要する感性を磨くことを重要視したカリキュラムが組まれています。箏・三絃どちらも弾き歌いで履修することを必須とし、また独奏・三曲合奏・器楽合奏等、多種多様な演奏形式や配役を経験しながら、演奏会形式で実践する試験も在ります。古典楽曲に重きを置き、多くの歌曲を取り上げて、楽曲分析と共に、弾き歌いの精度を向上させることで、指揮者のいない邦楽演奏の音楽表現を自発的に作り上げていくことを学習します。

以下「学部カリキュラム・ポリシー」に基づく科目の位置付け(目安)

①個人または少人数の専攻実技・演習

箏実技(山田流) I～IV、唄実技(山田流) I～IV、三絃実技(山田流) I～IV、山田流アンサンブル実技 I～IV、総合実習(山田流) I～IV、山田流箏曲演奏論(前期1・後期2に分かれている科目は必ず両方履修する)

②芸術文化に関する知識を体系的に獲得する講義

箏歌唱法 I・II、関連箏曲 I ※、邦楽合奏研究 ※、邦楽実技論 ※、邦楽研究旅行 ※、副科実技 ※、邦楽概論 A～F、邦楽歌詞研究 ※実技体験或いは研修参加型講義

③音楽理論など基盤的科目

ソルフェージュ C-a(又はソルフェージュ A)、日本・東洋音楽史、保健体育、一般教養科目・専門基礎科目(対象の外国語については、別途参照)

④国際的な場で芸術を实践する為に必要な語学能力習得科目

外国語科目(対象の外国語については、別途参照)

⑤学修した知識・技能を総合的に表出する実践的訓練の場

学内演奏(箏曲 山田流)・卒業演奏(箏曲 山田流)等

その他、音楽・美術専攻を越えた共演や国際交流の機会も大切に、演奏は勿論、専門分野について明快に紹介する能力と多様な芸術文化を受け入れる広い視野を育みます。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
専門科目	必修科目	箏曲実技(生田流)Ⅰ								●		●	●	
		箏曲実技(生田流)Ⅱ								●		●	●	
		箏曲実技(生田流)Ⅲ								●		●	●	
		箏曲実技(生田流)Ⅳ								●		●	●	
		三絃実技(生田流)Ⅰ								●		●	●	
		三絃実技(生田流)Ⅱ								●		●	●	
		三絃実技(生田流)Ⅲ								●		●	●	
		三絃実技(生田流)Ⅳ								●		●	●	
		歌唱(生田流)Ⅰ								●		●	●	
		歌唱(生田流)Ⅱ								●		●	●	
		歌唱(生田流)Ⅲ								●		●	●	
		歌唱(生田流)Ⅳ								●		●	●	
		総合実習(生田流)Ⅰ-1								●		●	●	
		総合実習(生田流)Ⅰ-2								●		●	●	
	総合実習(生田流)Ⅱ-1								●		●	●		
	総合実習(生田流)Ⅱ-2								●		●	●		
	総合実習(生田流)Ⅲ-1								●		●	●		
	総合実習(生田流)Ⅲ-2								●		●	●		
	総合実習(生田流)Ⅳ-1								●		●	●		
	総合実習(生田流)Ⅳ-2								●		●	●		
	箏曲生田流演奏論								●	●	●	●		
	邦楽実技論								●		●	●		
	学内演奏(箏曲(生田流))								●		●	●		
	卒業演奏(箏曲(生田流))								●		●	●		
	ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA								●				●	
	選択科目	邦楽研究旅行									●			
関連箏曲Ⅱ										●		●	●	
副科実技										●		●	●	
邦楽合奏研究										●		●	●	
創作実技(生田流)Ⅲ										●		●	●	
創作実技(生田流)Ⅳ										●		●	●	
芸術情報センター開設科目											●			
日本・東洋音楽史											●	●		
邦楽歌詞研究											●			
邦楽概論D											●			
保健体育										●				
ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB										●			●	
古典文献研究法													●	
共通科目	一般教養科目										●			
	専門基礎科目										●			
	外国語科目													●

箏曲生田流専攻では、「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者、及び芸術に携わる全ての実践者を養成する」という、東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的授業を受講することができます。

(1) 個人レッスンを中心とした箏・三絃・歌唱実技授業
 箏・三絃実技レッスンにおいては、古典、宮城曲をベースに、的確かつ細やかな指導が行われます。技術と表現に関する基本的なことはもちろん、演奏家としての多彩で豊かな表現を可能にする、より高度で専門的な技術を学んでいきます。歌唱実技においては、地歌の歌唱を「弾き歌い」にて学びます。まず身体の使い方、発声に関する基礎を学び、正しい日本語の発声、発語について探求していきます。個々の学生の資質や成熟度を考慮した課題を選択し、その楽曲の様式、和声、時代背景などについても学びます(ディプロマポリシー①③④)。

(2) 三曲合奏などの合奏授業
 「総合実習」では、音によるコミュニケーションという観点から、三曲合奏、二重奏等、複数での合奏の経験を重要なものとして位置付けています(ディプロマポリシー①③④)。
 実習は前期・後期に演奏会形式で行われ、全学年が参加します。様々な形態の合奏に対応できる技術、表現、メンタル、コミュニケーション能力を身に付け、一つの楽曲を共に演奏し、作り上げるという作業を経験することにより、一人では実現出来ない表現を体得することができます。

カリキュラム
 「箏曲生田流演奏論」は、音楽家としての基礎を築き、応用し実践へと導く科目として重要です。全学年必修となっており、隔年で開講されます(ディプロマポリシー①②③④)。
 「邦楽合奏研究」では、課題として箏の現代曲を取り上げ、洋楽的視点で楽曲を分析し深く掘り下げながら、アンサンブルの授業を行います(ディプロマポリシー①③④)。
 「創作実技」では、実践的邦楽のソルフェージュ、和声などを学び、箏の特性を学んだ上での、創作(作曲)授業を行っています(ディプロマポリシー①③④)。
 4年次には、「学内演奏」と、4年間の集大成としての「卒業演奏」が奏楽堂で行われます(ディプロマポリシー①③④)。
 その他、国際的なコミュニケーションに必要な外国語(ディプロマポリシー⑤)や、専門基礎科目、一般教養科目を学びます(ディプロマポリシー②)。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
必修科目	現代箏曲実技Ⅰ									●		●	●	
	現代箏曲実技Ⅱ									●		●	●	
	現代箏曲実技Ⅲ									●		●	●	
	現代箏曲実技Ⅳ									●		●	●	
	古典箏曲実技(生田流/山田流)Ⅰ									●		●	●	
	古典箏曲実技(生田流/山田流)Ⅱ									●		●	●	
	古典箏曲実技(生田流)Ⅲ									●		●	●	
	古典箏曲実技(生田流)Ⅳ									●		●	●	
	古典三絃実技(生田流)Ⅰ									●		●	●	
	古典三絃実技(生田流)Ⅱ									●		●	●	
	古典三絃実技(生田流)Ⅲ									●		●	●	
	古典三絃実技(生田流)Ⅳ									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅰ-1									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅰ-2									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅱ-1									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅱ-2									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅲ-1									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅲ-2									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅳ-1									●		●	●	
	総合実習(現代箏曲)Ⅳ-2									●		●	●	
	学内演奏(現代箏曲)									●		●	●	
	卒業演奏(現代箏曲)									●		●	●	
	邦楽合奏研究(現代箏曲) #1									●		●	●	
	邦楽合奏研究(現代箏曲) #2									●		●	●	
	邦楽合奏研究(現代箏曲) #3									●		●	●	
	邦楽合奏研究(現代箏曲) #4									●		●	●	
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●			●		
選択科目	現代邦楽研究									●		●	●	
	西洋音楽理論Ⅰ									●				
	西洋音楽理論Ⅱ									●				
	ソルフェージュC-bまたはソルフェージュB									●			●	
	現代邦楽作曲法									●		●	●	
	創作実技(現代箏曲)Ⅲ									●		●	●	
	創作実技(現代箏曲)Ⅳ									●		●	●	
	現代邦楽室内楽									●		●	●	
	邦楽実技論									●		●	●	
	箏曲生田流演奏論									●	●	●	●	
	山田流箏曲演奏論									●		●	●	
	邦楽研究旅行									●	●	●	●	
	副科実技									●		●	●	
	副科指揮法									●		●	●	
	日本・東洋音楽史										●	●		
	西洋音楽史										●	●		
	古典文献研究法										●	●		
	邦楽歌詞研究										●	●		
保健体育									●					
共通科目	一般教養科目										●			
	専門基礎科目										●			
	外国語科目													●

現代箏曲専攻では、「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者、及び芸術に携わる全ての実践者を養成する」という、東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的授業を受講することが出来ます。

(1) 個人レッスンを中心とした箏実技授業
 箏実技レッスンは、現代曲をメインとし、的確かつ細やかな指導が行われます。身体の使い方や、技術に関する基本的なことはもちろん、演奏家として、より多彩で豊かな表現を可能にするために、高度で専門的な技術と表現を学んでいきます。また、現代曲だけではなく、箏曲の基本である古典箏曲、古典三絃、地歌の歌唱を深く学ぶことにより、それを現代曲の豊かな音楽表現に効果的にフィードバックしていけるような授業を行っています。個々の学生の資質や成熟度を考慮した課題を選択し、その楽曲の様式、和声、などについても学びます(ディプロマポリシー①③④)。

(2) アンサンブル授業
 音によるコミュニケーションという観点から、必修の「総合実習」「邦楽合奏研究」を、重要なものとして位置付けています(ディプロマポリシー①③④)。「総合実習」は、前期・後期にホールでの演奏会形式で行われ、全学年が参加します。様々な形態でのアンサンブルを経験することにより、それに対応できる技術、表現、メンタル、コミュニケーション能力を身に付けます。また、一つの楽曲を共に演奏し、作り上げるという作業を経験することにより、一人では実現出来ない表現を体得することが出来ます(ディプロマポリシー①③④)。

カリキュラム

「邦楽合奏研究」では、洋楽的視点で楽曲を分析し深く掘り下げながら、アンサンブルの授業を行います(ディプロマポリシー①③④)。

「創作実技」では、実践的邦楽のソルフェージュ、和声などを学び、箏の特性を学んだ上での、創作(作曲)授業を行っています(ディプロマポリシー①③④)。

現代箏曲専攻に特化した選択科目の「西洋音楽理論」「現代邦楽作曲法」「現代邦楽室内楽」は、音楽理論や作曲法をより専門的に学ぶ授業です(ディプロマポリシー①③④)。

4年次には、「学内演奏」と、集大成としての「卒業演奏」が奏楽堂で行われます(ディプロマポリシー①③④)。

その他、国際的なコミュニケーションに必要な外国語(ディプロマポリシー⑤)や、専門基礎科目、一般教養科目を学びます(ディプロマポリシー②)。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
必修科目	主専攻本曲(琴古流/都山流)Ⅰ									●				
	主専攻本曲(琴古流/都山流)Ⅱ									●				
	主専攻本曲(琴古流/都山流)Ⅲ									●		●	●	
	主専攻本曲(琴古流/都山流)Ⅳ									●		●	●	
	主専攻外曲(琴古流/都山流)Ⅰ									●				
	主専攻外曲(琴古流/都山流)Ⅱ									●				
	主専攻外曲(琴古流/都山流)Ⅲ									●		●	●	
	主専攻外曲(琴古流/都山流)Ⅳ									●		●	●	
	総合実習本曲(琴古流/都山流)Ⅰ									●				
	総合実習本曲(琴古流/都山流)Ⅱ									●				
	総合実習本曲(琴古流/都山流)Ⅲ									●		●	●	
	総合実習本曲(琴古流/都山流)Ⅳ									●		●	●	
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅰ-1									●				
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅰ-2									●				
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅱ-1									●				
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅱ-2									●				
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅲ-1									●		●	●	
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅲ-2									●		●	●	
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅳ-1									●		●	●	
	総合実習外曲(琴古流/都山流)Ⅳ-2									●		●	●	
専門科目	他流派の尺八(琴古流/都山流)									●		●	●	
	邦楽概論D(三曲)									●	●			
	邦楽実技論									●		●	●	
	学内演奏(尺八(琴古流/都山流))									●		●	●	
	卒業演奏(尺八(琴古流/都山流))									●		●	●	
	邦楽合奏研究									●		●	●	
	ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●			●	
	尺八関連実技(箏曲実技(生田流/山田流))									●				
	尺八関連実技(三絃実技(生田流/山田流))									●				
	邦楽研究旅行									●	●		●	
	副科実技									●	●			
	日本・東洋音楽史									●	●	●		
	日本音楽史概説									●	●		●	
	東洋音楽史概説									●	●		●	
	古典文献研究法									●	●		●	
	邦楽歌詞研究									●	●		●	
	邦楽概論A(雅楽)									●	●		●	
	邦楽概論B(声明・琵琶楽)									●	●		●	
邦楽概論C(能楽)									●	●		●		
邦楽概論E(長唄・歌舞伎音楽)									●	●		●		
邦楽概論F(浄瑠璃)									●	●		●		
共通科目	保健体育									●				
	芸術情報センター開設科目										●			
	一般教養科目										●			
	専門基礎科目										●			
	外国語科目													●

邦楽科尺八専攻の学生は「高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、芸術分野の教育者・研究者及び芸術に携わるすべての実践者を養成する」という東京藝術大学の使命のもと、以下のような実践的な授業を受講することができます。

- 実技科目
- (1)個人レッスンを中心とした奏法の研究と演奏解釈
 専攻楽器の個人レッスンでは、それぞれの学生の資質や目標に合わせた授業が行われます。音楽家として、多彩で豊かな表現を可能にし、高いクオリティの演奏を行うための演奏技術の向上をはかり、音楽作品の様式感や時代背景、構成等を学びます。また、自らの技術の向上のため、または、それを次世代に伝えるための研究を行うこともあります。試演会等や、学年末試験、公開の実技試験、学内演奏会などを通じて、「演奏」の実践を積み重ねます。
- (2)総合実習・合奏研究
 尺八同士もしくは他の楽器との音によるコミュニケーションという観点から、合奏の授業を重要なものとして位置付けています。授業を履修することで、さまざまな形態の合奏に対応する技術とコミュニケーション能力を身につけます。また、一つの楽曲を共に演奏し作り上げるとき、ひとりでは実現できない表現を体得することができます。

カリキュラム

毎週一コマの個人レッスンに加え、1年次より行われる総合実習は、ホールで行われ独奏、合奏の演奏の場となっております。2年次以降は合奏の相手である箏や三味線の習得が必修となっております。学習の成果発表の場として、本曲や外曲の総合実習担当教員や学生同士での意見交換も行われます(ディプロマポリシー①③④)。

3年次には他様式の尺八を学ぶことで、自分の学んできたスタイルとは違う演奏法を学ぶことができます。また、研究旅行では、作品の背景になった場所を訪れることで、作品のさらなる深い理解に繋がっています。4年次の「学内演奏」「卒業演奏会」は奏楽堂で行われ、4年間の勉強の成果を発表する場となっております。(ディプロマポリシー①③④)

そのほか音楽家としての基礎を築く科目として、ソルフェージュなどの西洋音楽の基盤的科目(ディプロマポリシー①)、国際的なコミュニケーションや留学、文献研究等に必要な外国語(ディプロマポリシー⑤)や、専門基礎科目、教養科目を学びます(ディプロマポリシー②)。いくつかの楽器も副科として履修することができます(ディプロマポリシー①③④)。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
専門科目	必修科目													
	主専攻謡(能楽)Ⅰ									●				
	主専攻謡(能楽)Ⅱ									●				
	主専攻謡(能楽)Ⅲ									●				
	主専攻謡(能楽)Ⅳ									●				
	仕舞実技/小舞実技(能楽)Ⅰ									●				
	仕舞実技/小舞実技(能楽)Ⅱ									●				
	仕舞実技/小舞実技(能楽)Ⅲ									●				
	仕舞実技/小舞実技(能楽)Ⅳ									●				
	地拍子(観世流/宝生流)Ⅰ									●				
	地拍子(観世流/宝生流)Ⅱ									●				
	地拍子(観世流/宝生流)Ⅲ									●				
	地拍子(観世流/宝生流)Ⅳ									●				
	総合実習(能楽)Ⅰ									●		●	●	
	総合実習(能楽)Ⅱ									●		●	●	
	総合実習(能楽)Ⅲ									●		●	●	
	総合実習(能楽)Ⅳ									●		●	●	
	学内演奏(能楽)									●			●	
	卒業演奏(能楽)									●			●	
	副専攻笛(能楽)Ⅰ									●				
	副専攻笛(能楽)Ⅱ									●				
	副専攻笛(能楽)Ⅲ									●				
	副専攻笛(能楽)Ⅳ									●				
	副専攻小鼓(能楽)Ⅰ									●				
	副専攻小鼓(能楽)Ⅱ									●				
	副専攻小鼓(能楽)Ⅲ									●				
	副専攻小鼓(能楽)Ⅳ									●				
	副専攻大鼓(能楽)Ⅰ									●				
	副専攻大鼓(能楽)Ⅱ									●				
	副専攻大鼓(能楽)Ⅲ									●				
	副専攻大鼓(能楽)Ⅳ									●				
	副専攻太鼓(能楽)Ⅰ									●				
	副専攻太鼓(能楽)Ⅱ									●				
副専攻太鼓(能楽)Ⅲ									●					
副専攻太鼓(能楽)Ⅳ									●					
邦楽実技論									●		●	●		
邦楽研究旅行										●				
他様式の能楽										●				
副科実技										●	●			
邦楽関連実技:江戸祭囃子										●	●			
邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技										●	●			
日本・東洋音楽史										●	●			
古典文献研究法										●	●			
邦楽歌詞研究										●	●			
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA									●			●		
保健体育									●					
共通科目	一般教養科目										●			
	専門基礎科目										●			
	外国語科目												●	

700年に及ぶ歴史を持つ能楽を、専攻実技を中心に体系的に学ぶカリキュラムが組まれています。総合芸術である能楽を学ぶには、自身の専攻のみならず、舞台上の共演者への理解が必要不可欠です。能楽専攻生は謡曲及び仕舞(狂言の場合は小舞)が主専攻実技となりますが、共演者となる囃子方の笛・小鼓・大鼓・太鼓を副専攻実技として履修します。

また、実際の舞台公演が必要となる装束の着付け等も総合実習に組み入れて学びます。

さらに実演家として最も大切な、本番における集中力を、学内演奏や卒業演奏の試験演奏会を通じて学びます。

選択科目ではソルフェージュや音楽史、洋楽も含めた副科実技、研究旅行等で演奏家としての知見や知識を身につけ、さらに保健体育で心身の健康に努めます。

共通科目では一般教養や外国語等で、大学生として持つべき教養を身につけ、社会人となって世の中に貢献し得る人間性を育みます。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤	
必修科目	主専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(能楽囃子)Ⅰ									●					
	主専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(能楽囃子)Ⅱ									●					
	主専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(能楽囃子)Ⅲ									●					
	主専攻笛/小鼓/大鼓/太鼓(能楽囃子)Ⅳ									●					
	総合実習(能楽囃子)Ⅰ									●		●	●		
	総合実習(能楽囃子)Ⅱ									●		●	●		
	総合実習(能楽囃子)Ⅲ									●		●	●		
	総合実習(能楽囃子)Ⅳ									●		●	●		
	学内演奏(能楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))									●			●		
	卒業演奏(能楽囃子(笛/小鼓/大鼓/太鼓))									●			●		
	副主専攻笛(能楽囃子)Ⅰ									●					
	副主専攻笛(能楽囃子)Ⅱ									●					
	副主専攻笛(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副主専攻笛(能楽囃子)Ⅳ									●					
	副主専攻小鼓(能楽囃子)Ⅰ									●					
	副主専攻小鼓(能楽囃子)Ⅱ									●					
	副主専攻小鼓(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副主専攻小鼓(能楽囃子)Ⅳ									●					
	副主専攻大鼓(能楽囃子)Ⅰ									●					
	副主専攻大鼓(能楽囃子)Ⅱ									●					
	副主専攻大鼓(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副主専攻大鼓(能楽囃子)Ⅳ									●					
	副主専攻太鼓(能楽囃子)Ⅰ									●					
	副主専攻太鼓(能楽囃子)Ⅱ									●					
	副主専攻太鼓(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副主専攻太鼓(能楽囃子)Ⅳ									●					
	副専攻謡曲(能楽囃子)Ⅰ									●					
	副専攻謡曲(能楽囃子)Ⅱ									●					
	副専攻謡曲(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副専攻謡曲(能楽囃子)Ⅳ									●					
	副専攻仕舞(能楽囃子)Ⅲ									●					
	副専攻仕舞(能楽囃子)Ⅳ									●					
	邦楽実技論											●	●		
邦楽研究旅行											●	●			
他様式の能楽											●	●			
副科実技											●	●			
邦楽関連実技:江戸祭囃子											●	●			
邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技											●	●			
日本・東洋音楽史											●	●			
古典文献研究法											●	●			
邦楽歌詞研究											●	●			
ソルフェージュC-aまたはソルフェージュA										●			●		
保健体育										●					
共通科目	一般教養科目										●				
	専門基礎科目										●				
	外国語科目													●	

700年に及ぶ歴史を持つ能楽を、専攻実技を中心に体系的に学ぶカリキュラムが組まれています。総合芸術である能楽を学ぶには、自身の専攻のみならず、舞台上の共演者への理解が必要不可欠です。能楽囃子専攻生は笛・小鼓・大鼓・太鼓の内の一つが主専攻実技となりますが、主専攻以外の笛・小鼓・大鼓・太鼓を副主専攻実技として学び、さらには謡曲、仕舞も副専攻実技として履修し、総合実習等を通じて舞台上でそれを体験し、共演者へのさらなる理解を深め、体系的に能楽を修得します。

さらに実演家として最も大切な、本番における集中力を、学内演奏や卒業演奏の試験演奏会を通じて学びます。

選択科目ではソルフェージュや音楽史、洋楽も含めた副科実技、研究旅行等で演奏家としての知見や知識を身につけ、さらに保健体育で心身の健康に努めます。

共通科目では一般教養や外国語等で、大学生として持つべき教養を身につけ、社会人となって世の中に貢献し得る人間性を育みます。

区分	科目	1年次		2年次		3年次		4年次		DP	DP	DP	DP	DP
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	①	②	③	④	⑤
専門科目	必修科目	雅楽実技(笙/箏/龍笛)Ⅰ								●				
		雅楽実技(笙/箏/龍笛)Ⅱ								●				
		雅楽実技(笙/箏/龍笛)Ⅲ								●				
		雅楽実技(笙/箏/龍笛)Ⅳ								●				
		雅楽合奏実技Ⅰ								●				
		雅楽合奏実技Ⅱ								●				
		雅楽合奏実技Ⅲ								●				
		雅楽合奏実技Ⅳ								●				
		総合実習(雅楽)Ⅰ-1								●				
		総合実習(雅楽)Ⅰ-2								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅱ-1								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅱ-2								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅲ-1								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅲ-2								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅳ-1								●		●	●	
		総合実習(雅楽)Ⅳ-2								●		●	●	
		学内演奏(雅楽)								●			●	
	卒業演奏(雅楽)								●				●	
	歌物実技Ⅰ								●					
	歌物実技Ⅱ								●					
	歌物実技Ⅲ								●					
	歌物実技Ⅳ								●					
	舞楽実技Ⅰ								●					
	舞楽実技Ⅱ								●					
	舞楽実技Ⅲ								●					
	舞楽実技Ⅳ								●					
	邦楽概論A(雅楽)								●	●				
	邦楽研究旅行									●	●			
	邦楽合奏研究											●		
	副科邦楽実技									●	●			
	邦楽関連実技:江戸祭囃子									●	●			
	邦楽関連実技:歌舞伎下座大太鼓実技									●	●			
	邦楽概論B~F									●	●			
日本・東洋音楽史									●	●				
古典文献研究法									●	●				
邦楽歌詞研究									●	●				
邦楽実技論									●		●			
保健体育									●					
共通科目	一般教養科目									●				
	専門基礎科目									●				
	外国語科目												●	

雅楽専攻では、実技個人レッスン、合奏レッスン、歌物のグループレッスン、舞楽(左舞、右舞)のグループレッスンなどを通じ、雅楽に対するより深い技術と知識の習得を目指しています。
また、演奏会形式の総合実習、学内演奏会、卒業試験、公開演奏会をはじめとした、舞台での経験を深め、総合的な音楽能力を習得し、優秀な演奏家を育成することを目標としています。

・雅楽専攻の各年次カリキュラム
1年次:雅楽実技Ⅰ(笙/箏/龍笛)、雅楽合奏実技Ⅰ、総合実習(雅楽)Ⅰ-1、2、歌物実技Ⅰ、舞楽実技Ⅰ、邦楽概論A[選択科目]日本・東洋音楽史、邦楽実技論、邦楽概論(B~F)など
2年次:雅楽実技Ⅱ(笙/箏/龍笛)、雅楽合奏実技Ⅱ、総合実習(雅楽)Ⅱ-1、2、歌物実技Ⅱ、舞楽実技Ⅱ、邦楽概論A[選択科目]古典文献研究法、邦楽実技論、副科邦楽実技、邦楽概論(B~F)など
3年次:雅楽実技Ⅲ(笙/箏/龍笛)、雅楽合奏実技Ⅲ、総合実習(雅楽)Ⅲ-1、2、歌物実技Ⅲ、舞楽実技Ⅲ、邦楽概論A[選択科目]邦楽歌詞研究、邦楽合奏研究、副科邦楽実技、邦楽概論(B~F)など
4年次:雅楽実技Ⅳ(笙/箏/龍笛)、雅楽合奏実技Ⅳ、総合実習(雅楽)Ⅳ-1、2、歌物実技Ⅳ、舞楽実技Ⅳ、学内演奏(雅楽)、卒業演奏(雅楽)、邦楽概論A[選択科目]邦楽研究旅行、邦楽合奏研究、副科邦楽実技、邦楽概論(B~F)など

大学院では、学部で培った学びを基に、より高度な演奏技術（演能技術・舞踊技術）や表現力の習熟と、論文作成に必要な学術研究のスキルを身につけ、広い視野と技術を持った舞台人としての自立を目指します。修士課程では研究内容に即した指導教員の「演習」（個人レッスン）や「実習」（主に合奏などのアンサンブル）を履修し高度な実技技術を得るとともに、各専門分野での実践的経験を重ね、舞台人としての活動の礎を築きます。（「邦楽演習」「邦楽アンサンブル実習（邦楽実習）」）また、専攻の深い理解のために、関連する技術を身につけることができます。（「三味線音楽関連実技」「日本舞踊関連実技」「箏曲合奏関連実技」「邦楽合奏関連実技」「能楽関連実技」：選択履修）

また、担当教員が開設する「邦楽特殊研究」では、各々のテーマに沿った論文作成を進めます。学位審査では「演奏審査と論文審査」の両方が必須になっていますので、演奏（実技）と論文の両方が相互に関連したテーマが求められます。論文を進めることにより得た深い知識を演奏に生かし、実演家としての独自の視点を持ち論文に取り組むことが重要になります。また、「音楽研究基礎」では音楽学の教員による論文指導を受けることができます。

その他、幅広い視野と関連知識を得るために、選択科目として「原典特殊講義」「他専攻の授業科目」「学部開設授業科目」「外国語会話」「芸術情報関連科目」を履修することができます。